

科目	スポーツ実技Ⅱバレーボール	担当	縄田 亮太	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

豊かなスポーツライフを目指し、受講者全員がバレーボールの魅力を感じることができることである。そのためには、誰とでもバレーボールのゲームに参加することができるようになることを目指す。

【履修注意】

受講者全員がバレーボールを楽しめるように、授業を自分たちで創る気持ちが必要です。I'm Funも大切にしながら、We're Funを実現できるような心構えが必要です。

【評価方法】

技能、思考、態度を総合的に評価する。特に、態度を重視する。

【試験について】

実施しない。

再試験対象者の条件:なし

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

【教科書】

なし

【参考書】

なし

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	受講上の注意
2	得点の意識をもつ	少人数ゲームが中心
3	得点の意図的にする	少人数ゲームが中心
4	失点を回避する意識をもつ	少人数ゲームが中心
5	失点を意図的に回避する	少人数ゲームが中心
6	連係プレーを意識する	少人数ゲームが中心
7	連係プレーを意図的にする	少人数ゲームが中心
8	得点の意識をもつ(2)	少人数ゲームが中心
9	得点の意図的にする(2)	少人数ゲームが中心
10	失点を回避する意識をもつ(2)	クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心
11	失点を意図的に回避する(2)	クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心
12	連係プレーを意識する(2)	クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心
13	連係プレーを意図的にする(2)	クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心
14	誰とでも連係プレーを挑戦できる	クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心
15	誰とでも連係プレーを実現できる	クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心
16	誰とでもバレーを楽しむ	クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心